

# 2022年3月期 第3四半期決算補足資料

---

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2022年2月4日



1

全社営業利益（のれん償却前）は32億円、前年より47億円増益  
コロナ禍前（2020年3月期）からも20億円の増益

2

利益改善の牽引役は映像制作サービスで前年より38億円の増益

3

映像コンテンツも受注回復と収益改善成果で前年より7億円増益

# 第3四半期（累計）決算ハイライト

・売上はSDI売却で減収となるも、利益は2020年3月期（コロナ禍前）を大幅に上回る

（単位：百万円）

売上高

55,618

前年増減額  
△3,052

のれん償却前営業利益

3,210

前年増減額  
+4,774

営業利益/損失

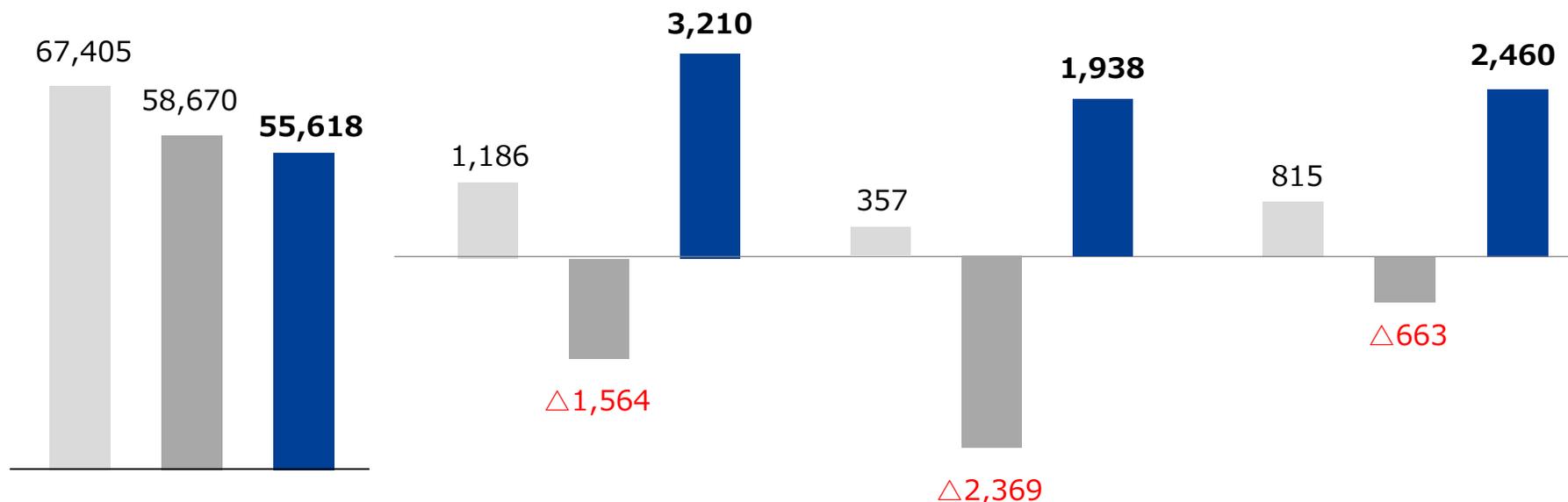
1,938

前年増減額  
+4,307

親会社株主に帰属  
する当期純利益

2,460

前年増減額  
+3,123

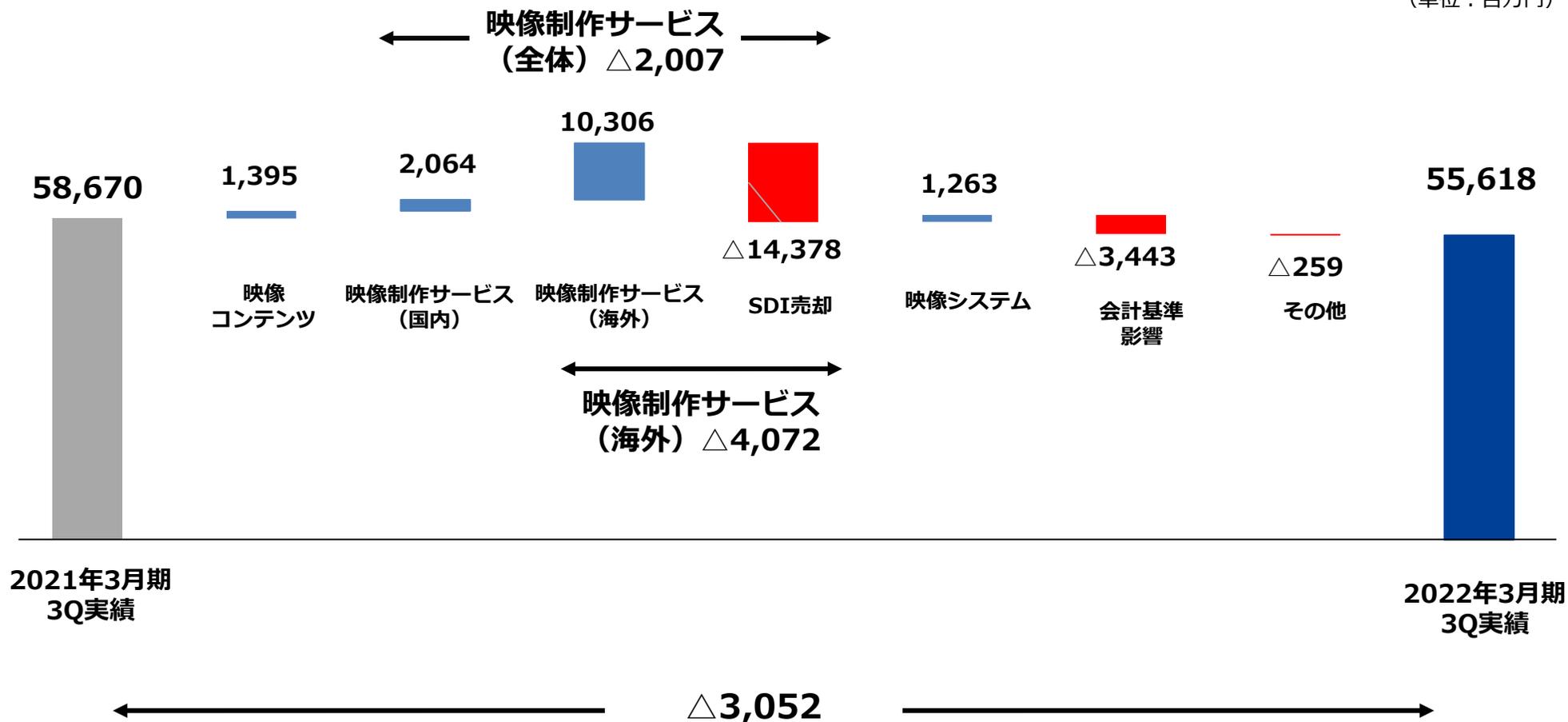


2020年3月期 3Q 2021年3月期 3Q 2022年3月期 3Q

# 売上高の増減分析（前年比）

## ・ SDI売却影響を除くと、全セグメント増収

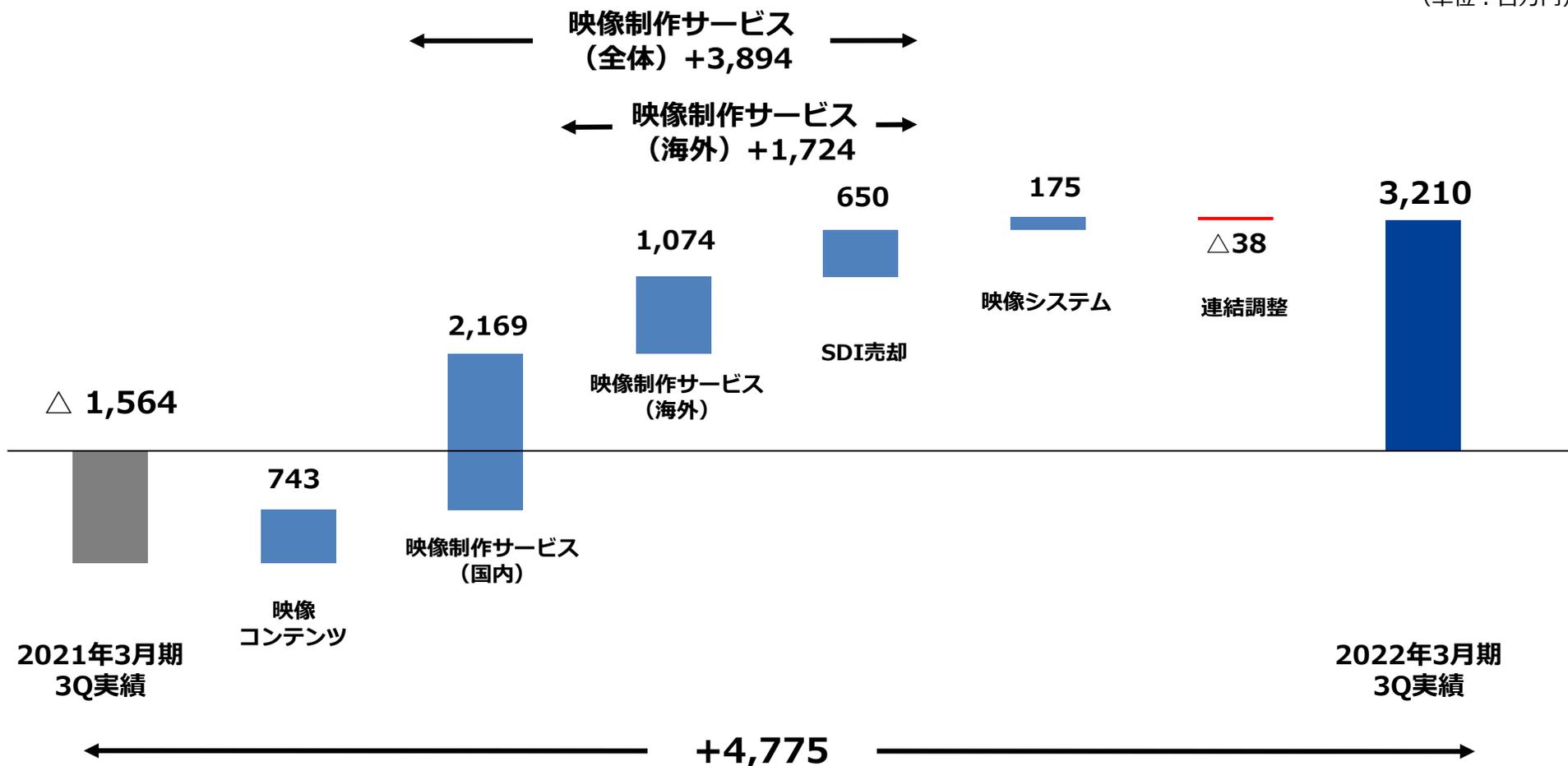
(単位：百万円)



# のれん償却前営業利益の増減分析（前年比）

- 映像制作サービス38億円、映像コンテンツ7億円、連結で47億円の大増益

（単位：百万円）

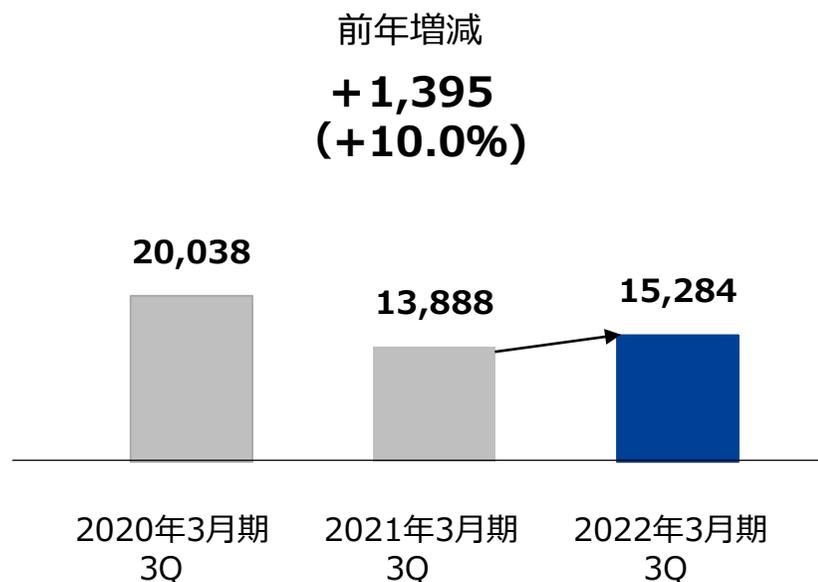


# 映像コンテンツ事業（第3四半期累計）

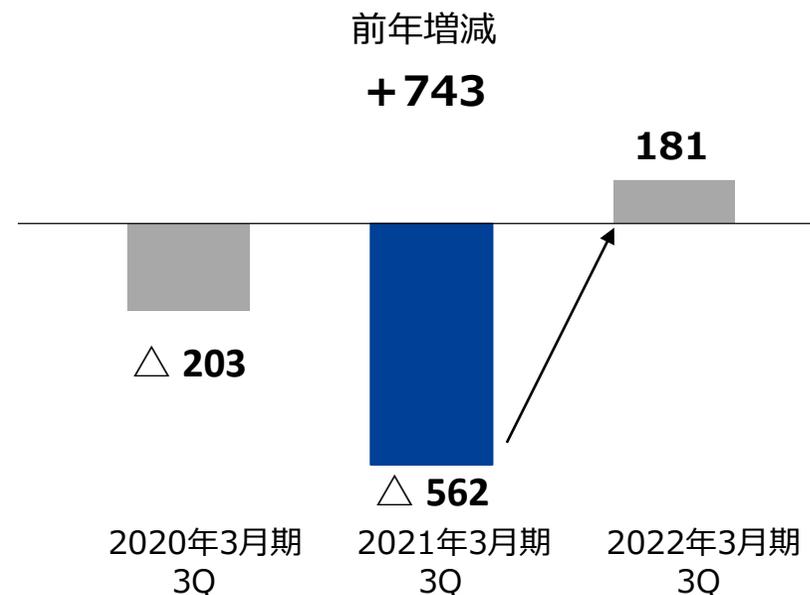
- 受注回復により収益が大幅に改善、2020年3月期からも3億円増益

(単位：百万円)

売上高



のれん償却前営業利益



- ✓ CM制作の受注回復が継続し、収益性も改善傾向
- ✓ 劇場映画作品の一部納品が4Qへ延期になったものの、動画配信事業者向けドラマ作品の納品もあり売上は堅調
- ✓ オンライン配信の音楽ライブやミュージックビデオの撮影の受注も好調継続

# 映像制作サービス事業（第3四半期累計）

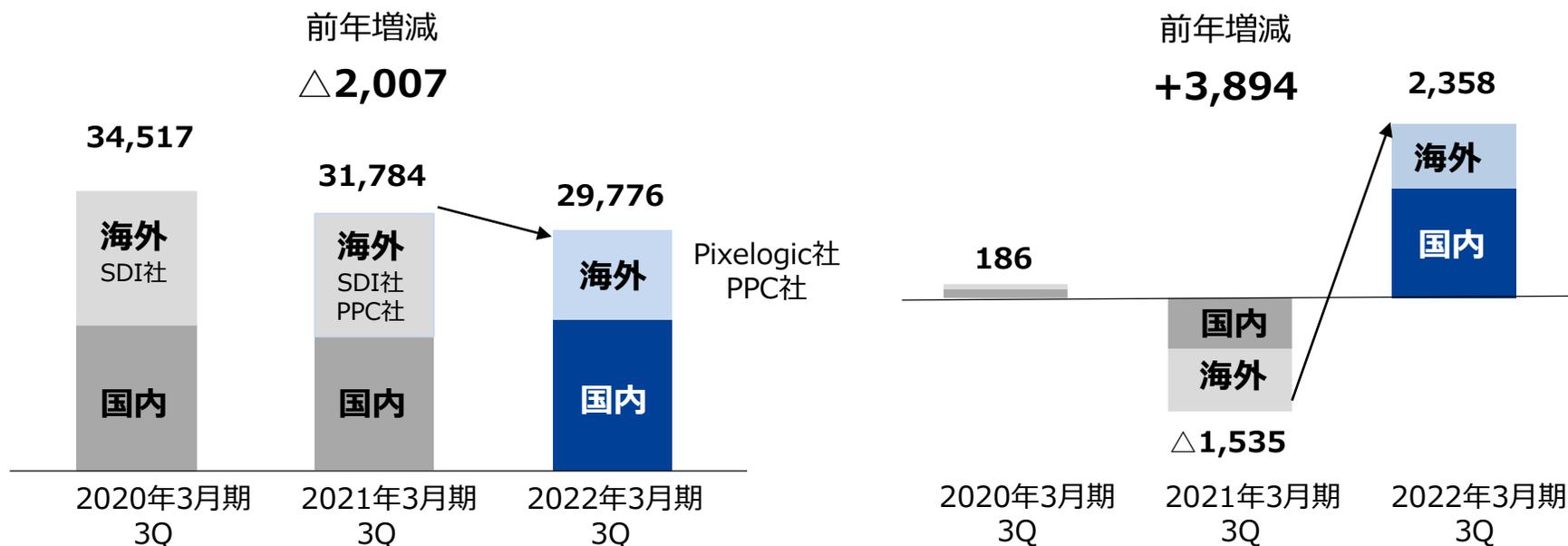
## ・グローバルE2Eサービス\*1の好調継続、国内の構造改革\*2等により大幅増益

売上高

のれん償却前営業利益

（単位：百万円）

数値は国内・海外の合算



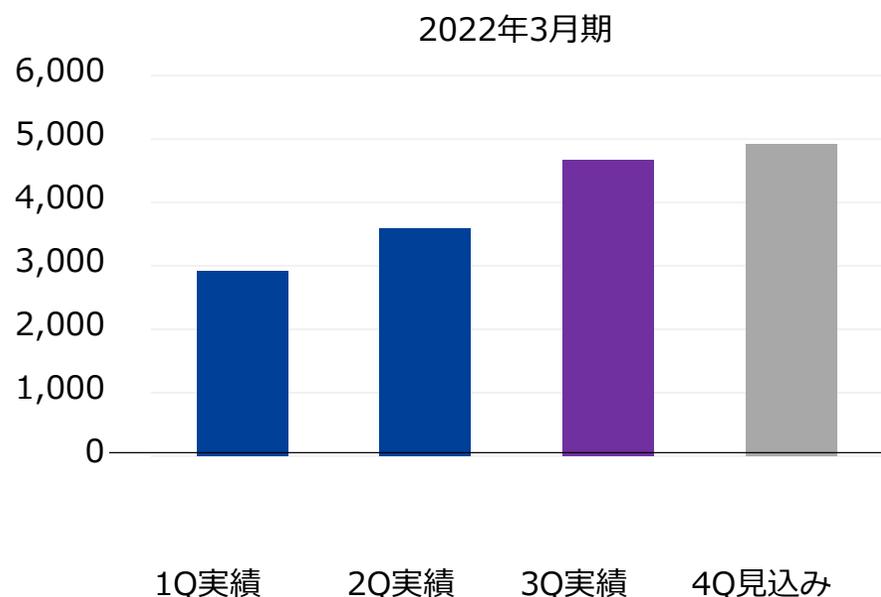
- ✓ 国内では動画配信事業者\*3向けサービスが引き続き好調。劇場公開作品数増加によりデジタルシネマサービスも回復し、またポスプロも堅調。構造改革効果も加え利益が大幅に改善。
- ✓ 海外ではPixelogicの動画配信事業者向けのローカライズが引き続き好調。欧米の劇場再開に伴い、デジタルシネマ向けサービスの売上が回復したこともあり、利益が大幅に改善。

# 映像制作サービス（海外）四半期別業績見込み

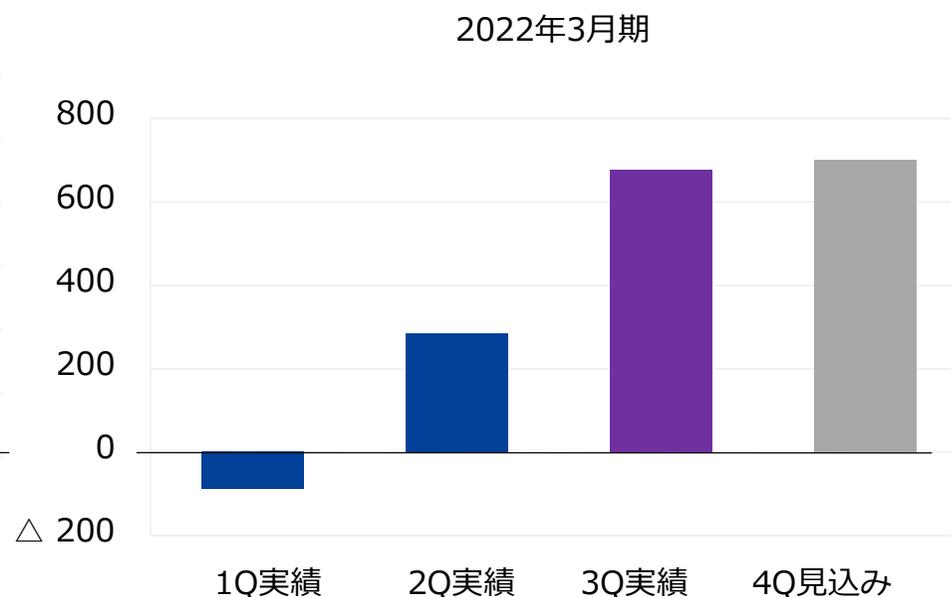
・ 3Qは見込みを上回る実績、4Qも欧米の劇場再開に伴い、売上・利益共に堅調で収益は大幅に改善

(単位：百万円)

## 売上高



## のれん償却前営業利益



- ✓ 動画配信事業者向けのサービスは4Q以降も好調の見込み
- ✓ 3Q（現地7-9月）は欧米の劇場再開に伴い、見込み通り利益が大幅に改善

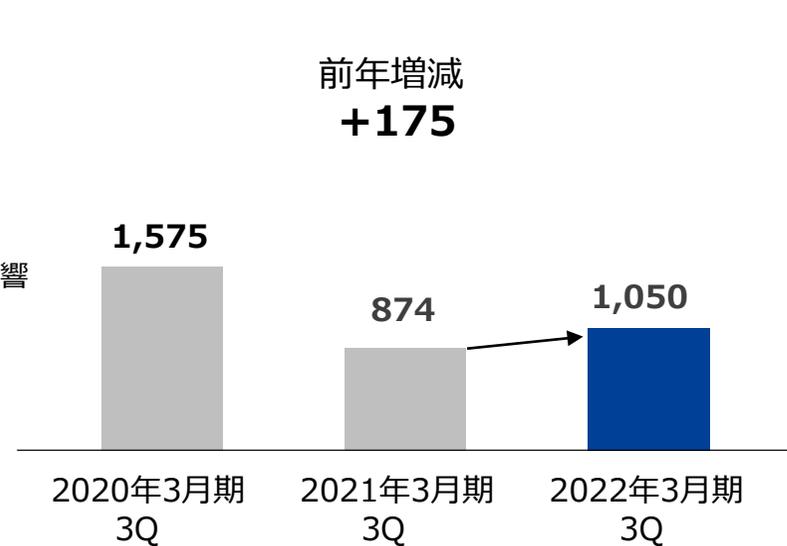
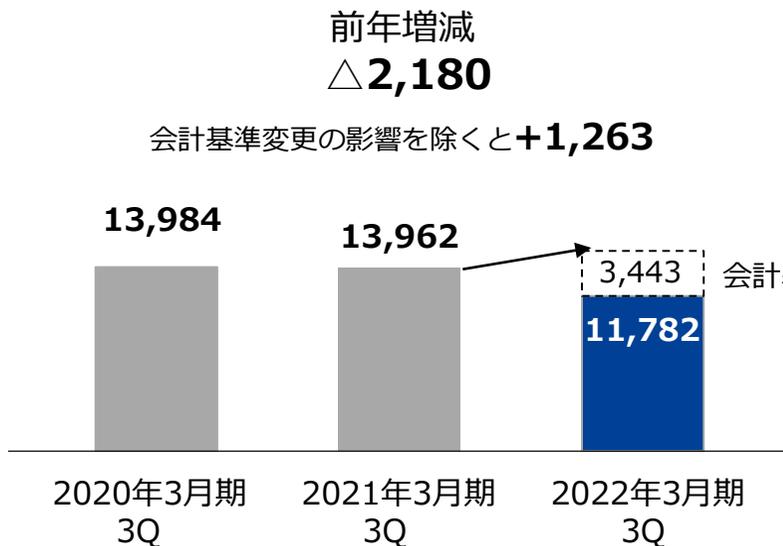
# 映像システム事業（第3四半期累計）

## ・ 会計基準変更の影響\*4を除くと12億円の増収

(単位：百万円)

売上高

のれん償却前営業利益



- ✓ ハイスピードカメラは国内での販売が回復傾向、アジア・欧米での販売は好調継続
- ✓ CMオンライン送稿\*5はマーケットニーズ拡大により販売が引き続き好調
- ✓ 映像・画像処理LSI売上は国内および海外の販売が好調に推移
- ✓ 放送局向けシステムは需要低迷などにより2020年3月期と比べると不振

\* 会計基準変更影響：モバイル通信回線売上を純額で計上したことによる影響

\* 子会社のセグメント変更により、2020年3月期、2021年3月期の「映像システム事業」の売上高、営業損益には株式会社イマジカ・ライヴを加えております。

# 2022年3月期 通期業績予想

- ・オミクロン株による業績への影響などを見込み、現時点で業績予想は据え置く

| (百万円)               | 2021年3月期 | 2022年3月期      |           |           |
|---------------------|----------|---------------|-----------|-----------|
|                     | 実績       | 12/24開示<br>予想 | 前年<br>増減額 | 前年<br>増減率 |
| 売上高                 | 86,727   | 77,000        | △9,727    | △11.2%    |
| 営業利益/損失             | △1,084   | 2,000         | 3,084     | －         |
| (営業利益率)             | (%)      | (2.6%)        | －         | －         |
| 経常利益/損失             | △1,343   | 2,500         | 3,843     | －         |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 3,454    | 2,500         | △954      | △27.6%    |
| 1株当たり当期純利益 (円)      | 77.89    | 56.32         | △21.57    | △27.6%    |
| のれん償却前営業利益          | 320      | 3,610         | 3,290     | 1,028%    |

# Appendix.

# 連結損益計算書

| (単位：百万円)           | 2021年3月期3Q     | 2022年3月期3Q    |         |        |
|--------------------|----------------|---------------|---------|--------|
|                    | 実績             | 実績            | 前年増減額   | 前年増減比  |
| 売上高                | <b>58,670</b>  | <b>55,618</b> | △ 3,052 | △5.2%  |
| 売上総利益              | <b>12,932</b>  | <b>16,390</b> | 3,458   | 26.7%  |
| (売上総利益率)           | 22.0%          | 29.5%         |         |        |
| 営業利益/損失            | △ <b>2,369</b> | <b>1,938</b>  | 4,308   | —      |
| (営業利益率)            | —              | 3.5%          |         |        |
| 経常利益/損失            | △ <b>2,729</b> | <b>2,448</b>  | 5,178   | —      |
| (経常利益率)            | —              | 4.4%          |         |        |
| 特別利益               | <b>2,216</b>   | <b>858</b>    | △ 1,357 | △61.3% |
| 特別損失               | <b>154</b>     | <b>559</b>    | 405     | 262.1% |
| 税金等調整前当期純利益/損失     | △ <b>667</b>   | <b>2,747</b>  | 3,415   | —      |
| 親会社株主に帰属する当期純利益/損失 | △ <b>663</b>   | <b>2,460</b>  | 3,123   | —      |
| (参考)のれん等償却前営業利益    | △ <b>1,564</b> | <b>3,210</b>  | 4,775   | —      |

※のれん等償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

# 連結貸借対照表

| (単位：百万円) |            | 2021年3月期末 | 2022年3月期3Q末 | 前期比     | 主な増減要因                           |
|----------|------------|-----------|-------------|---------|----------------------------------|
| 資産の部     | 流動資産       | 30,440    | 36,814      | 6,373   | 現金預金 △893<br>受取手形、売掛金及び契約資産 +875 |
|          | うち現預金      | 6,908     | 6,014       | △ 893   | たな卸資産 +6,221                     |
|          | 固定資産       | 30,005    | 32,698      | 2,692   | 建物および構築物 +2,217<br>投資有価証券 △750   |
|          | うちのれん      | 12,048    | 12,134      | 85      | 関係会社株式 △638                      |
| 資産合計     |            | 60,446    | 69,512      | 9,066   |                                  |
| 負債・純資産の部 | 流動負債       | 22,117    | 28,782      | 6,664   | 支払手形及び買掛金 +1,163<br>未払金 +1,648   |
|          | うち短期借入金    | 7,402     | 5,520       | △ 1,882 | 契約負債 +5,093                      |
|          | 固定負債       | 8,495     | 7,497       | △ 998   |                                  |
|          | うち長期借入金    | 5,384     | 4,297       | △ 1,087 |                                  |
|          | 負債合計       | 30,613    | 36,279      | 5,666   |                                  |
|          | 株主資本       | 27,149    | 29,691      | 2,541   | (参考) 自己資本                        |
|          | その他包括利益累計額 | 301       | 732         | 430     | 2021年3月期末 27,450 (45.4%)         |
|          | 新株予約権      | 11        | —           | △ 11    | 2022年3月期3Q 30,423 (43.8%)        |
|          | 非支配株主持分    | 2,370     | 2,809       | 438     |                                  |
|          | 純資産合計      | 29,832    | 33,232      | 3,399   |                                  |
| 負債純資産合計  | 60,446     | 69,512    | 9,066       |         |                                  |
| ネット資金    |            | △ 5,878   | △ 3,803     | 2,075   | (現預金 - 長短期借入金)                   |

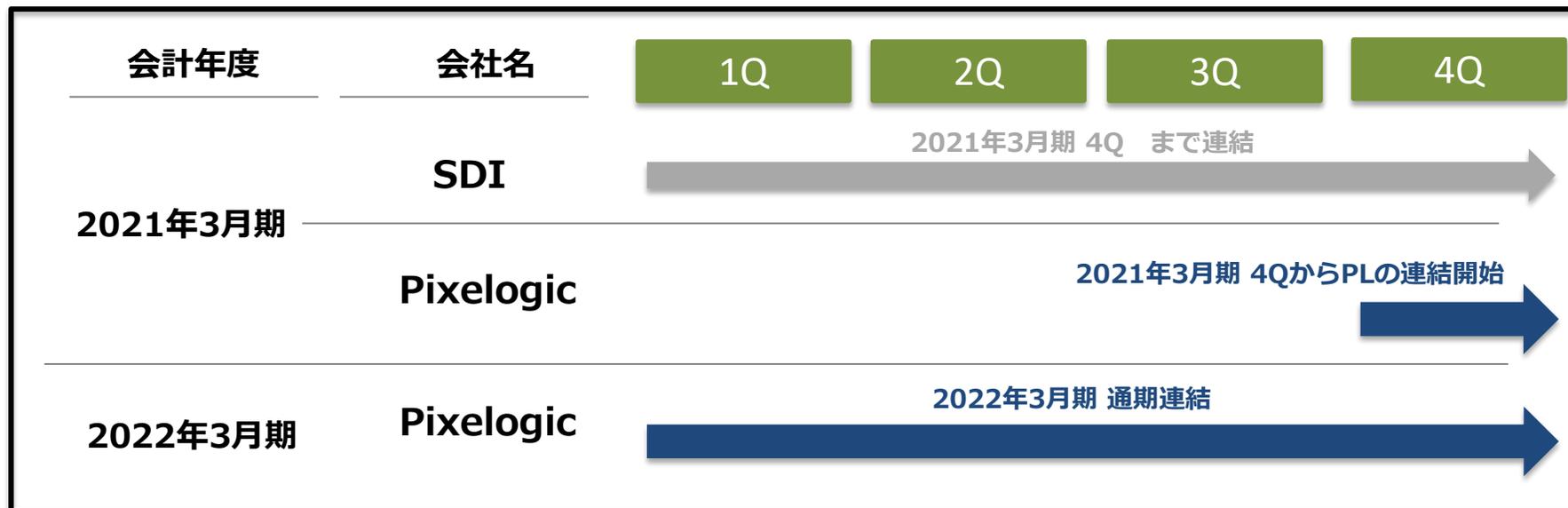
# セグメント別総括

| (単位：百万円)   |                    | 2021年3月期3Q   | 2022年3月期3Q    |         |         |
|------------|--------------------|--------------|---------------|---------|---------|
|            |                    | 実績           | 実績            | 前期比増減   | 前期比増減率  |
| 映像コンテンツ事業  | 売上高                | 13,888       | 15,284        | 1,395   | 10.0%   |
|            | 営業利益/損失<br>(営業利益率) | △ 562<br>—   | 177<br>1.2%   | 740     | —       |
|            | のれん等償却前営業利益/損失     | △ 562        | 181           | 743     | —       |
| 映像制作サービス事業 | 売上高                | 31,784       | 29,776        | △ 2,007 | △ 6.3%  |
|            | 営業利益/損失<br>(営業利益率) | △ 2,340<br>— | 1,116<br>3.8% | 3,457   | —       |
|            | のれん等償却前営業利益/損失     | △ 1,535      | 2,358         | 3,894   | —       |
| 映像システム事業   | 売上高                | 13,962       | 11,782        | △ 2,180 | △ 15.6% |
|            | 営業利益<br>(営業利益率)    | 874<br>6.3%  | 1,023<br>8.7% | 148     | 17.0%   |
|            | のれん等償却前営業利益        | 874          | 1,050         | 175     | 20.1%   |
| その他        | 売上高                | △ 965        | △ 1,225       | △ 259   | —       |
|            | 営業損失               | △ 340        | △ 379         | △ 38    | —       |
| 連結合計       | 売上高                | 58,670       | 55,618        | △ 3,052 | △ 5.2%  |
|            | 営業利益/損失<br>(営業利益率) | △ 2,369<br>— | 1,938<br>3.5% | 4,308   | —       |
|            | のれん等償却前営業利益/損失     | △ 1,564      | 3,210         | 4,775   | —       |

\*子会社のセグメント変更により、2021年3月期3Qの「映像制作サービス事業」「映像システム事業」「その他」の数値を変更しております

# (参考) 映像制作サービス事業での海外子会社の異動

- ✓ グローバルE2Eサービス\*1を展開するPixelogic社について、2021年3月期 4Qより損益の連結を開始
- ✓ SDI社については、2021年3月末に全株式を売却し、連結の範囲から除外



\* Pixelogic社は決算日が12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には、2021年1月1日～2021年9月30日の実績を反映

# (参考) のれん償却前営業利益の開示について

当第1四半期より、当社グループの実態により適合した経営状況をお伝えするため、「のれん償却前営業利益」を主要指標の1つとして開示しております。

| (単位：百万円)   | 2022年3月期<br>3Q (累計) | 2022年3月期<br>通期 | 新中期経営計画<br>「G-EST2025」 |
|------------|---------------------|----------------|------------------------|
|            | 実績                  | 計画             | 目標                     |
| 売上高        | 55,618              | 75,000         | 100,000                |
| 営業利益       | 1,938               | 2,000          |                        |
| のれん償却前営業利益 | 3,210               | 3,610          | 8,000                  |

のれん償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + M&Aに伴う無形固定資産償却

# (参考) プライム市場選択申請について

- 「プライム市場」の選択を申請、上場維持基準の適合に向けた計画書を提出

- 適合状況

|          | プライム市場 上場基準 | 適合状況      | 当社の数値<br>(基準日:2021年6月30日) |
|----------|-------------|-----------|---------------------------|
| 流通株式数    | 20,000単位以上  | 適合        | <b>122,002単位</b>          |
| 流通株式時価総額 | 100億円以上     | <b>改善</b> | <b>61.2億円</b>             |
| 流通株式比率   | 35.0%以上     | <b>改善</b> | <b>27.2%</b>              |
| 1日平均売買代金 | 20百万円以上     | 適合        | <b>41百万円</b>              |

- 改善に向けた基本方針と取り組み

## 1. 時価総額の向上

中期経営計画「G-EST2025」に掲げた「逆境にも強いバランスの取れた高収益体質のグループ」を目指すとともに、IR活動の強化など株主・投資家との対話を促進することで、時価総額を継続的に向上させてまいります。

## 2. 流通株式比率の向上

大株主や法人株主との流通株式比率向上に関する対話を進めると共に、その他流動性向上に資する施策に取り組んでまいります。

# 2021年10月～ 主なグループTOPICS

2021/10/25  
IMAGICA EEX  
コスモ・スペース

東京ガールズコレクションで最先端映像テクノロジーを活用した空間演出・技術提供を行いメタバース時代のファッションショーを実現！



©マイナビ TOKYO GIRLS COLLECTION 2021 AUTUMNWINTER

2021/11/1  
フォトロン

株式会社ISLWAREの全株式を取得

Photron

2021/11/1  
IMAGICA EEX

ライブビジネスの拡大を目指しNTTドコモと、新しい形のオンラインライブ配信を実施



2021/11/24  
IMAGICA GROUP

東京eスポーツゲート株式会社への出資と業務提携に関するお知らせ



2021/12/3  
ROBOT

ROBOT所属作家ユージン、2021年12月～2022年1月OAのNHKみんなのうた「新呼吸」のアニメーションを担当



©NHK/ROBOT

2021/12/21  
IMAGICA GROUP

IMAGICA GROUP「サステナビリティサイト」を新設 ～“映像”を軸に、豊かで持続可能な社会の実現を目指します～



2021/12/28  
ROBOT

NHKのSDGsキャンペーンキャラクター、水の妖精・アオと光の妖精・キイが登場するショートアニメ「アオとキイ」を制作 NHK Eテレにて放送決定



©NHK

2021/12/29  
IMAGICA Lab.  
コスモ・スペース

VR空間で伝説のLIVEが再演「MIYAVI Virtual Live 6.0 in 京都・清水寺“MIYAVI in KIYOMIZU”」にIMAGICA Lab. とコスモ・スペースが技術協力



## \*1.グローバルE2Eサービス

End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称を指します。

## \*2.構造改革

本資料に記載されている構造改革は、[2021年1月22日付「新会社\(子会社\)設立と映像制作サービス事業の構造改革、グループ事業再編の実施及び当社と連結子会社の希望退職募集に関するお知らせ」](#)に記載のとおり、当社グループの持続的な成長並びに業績回復の実現を目的とし、映像制作サービス事業にて実施した希望退職を指します。

## \*3.動画配信事業者

インターネットを介したプラットフォームにて動画配信を行う事業者を指します。

## \*4.会計基準変更影響

会計基準変更により、映像システム事業におけるモバイル通信回線売上を純額で計上したこと等による影響を指します。

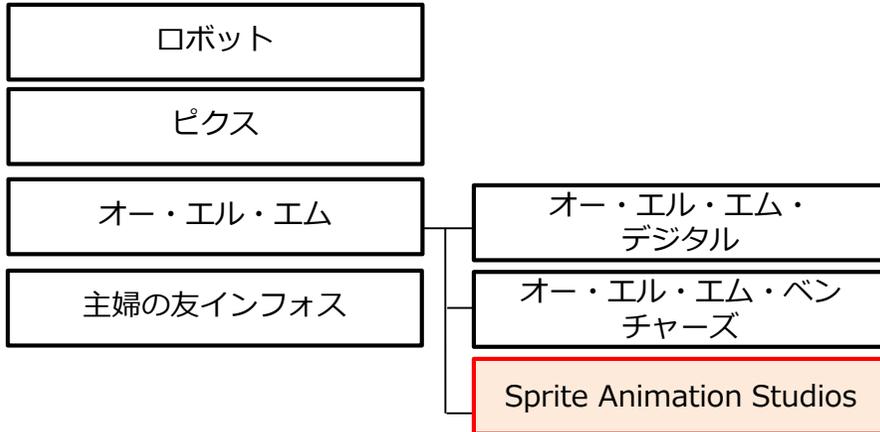
## \*5.オンライン送稿

オンライン上でテレビCM素材等を放送局へ搬入するサービス(フォトロンで提供しているサービス：C.M.HARBOR)を指します。

# 事業セグメント別 連結子会社一覧 (2022年3月期)

## 映像コンテンツ事業

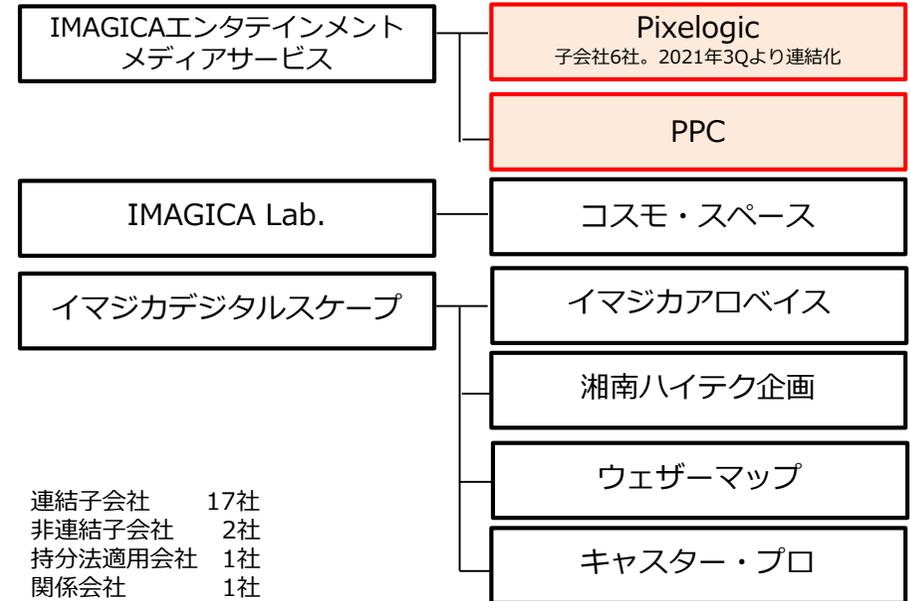
映画、アニメ、CM、TVドラマ、プロジェクションマッピング等のエンタテインメント映像の企画・制作



連結子会社 8社  
非連結子会社 3社

## 映像制作サービス事業

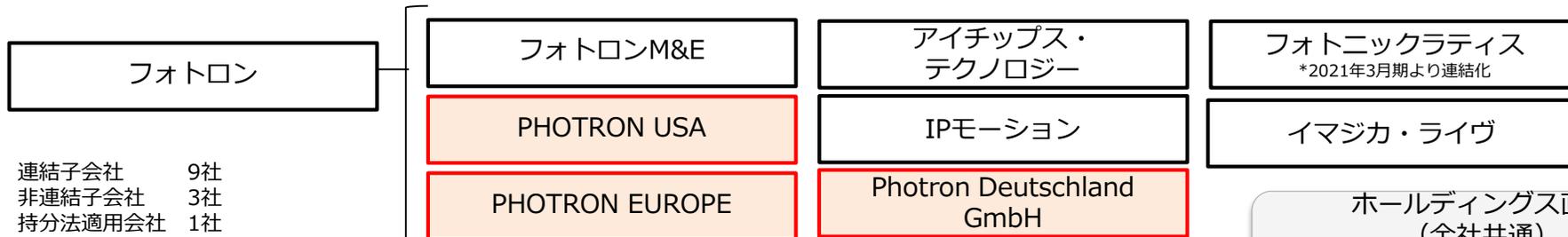
映像・音声編集、CG制作等の映像加工、字幕・吹替、配信・流通サービス、撮影、中継、ゲーム制作、人材派遣



連結子会社 17社  
非連結子会社 2社  
持分法適用会社 1社  
関係会社 1社

## 映像システム事業

放送局向け映像機器の設計～導入、ネットワーク回線を活用した映像伝送、映像編集クラウドシステム構築など映像システムソリューション全般。独自技術のハイスピードビデオカメラの開発製造事業CAD、画像関連LSI事業



連結子会社 9社  
非連結子会社 3社  
持分法適用会社 1社

ホールディングス直轄  
(全社共通)  
IMAGICA EEX  
\*2021年3月期より連結化

\*赤枠は海外グループ会社

# お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒105-0022 東京都 港区 海岸 1-14-2

Email : [ir@imagicagroup.co.jp](mailto:ir@imagicagroup.co.jp)

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。